

科目ナンバリング		G-AGR00 8Z002 LE85			
授業科目名 <英訳>	日本の農業と環境 Agriculture and Environment in Japan		担当者所属・ 職名・氏名	農学研究科 准教授 三宅 武 地球環境学舎 准教授 真常 仁志 農学研究科 准教授 片山 礼子	
配当学年	1回生以上	単位数	2	開講年度・開講期	2024・前期
曜時限	木2	授業形態	講義（対面授業科目）	使用言語	英語
[授業の概要・目的]					
<p>修士課程の留学生を対象に開講する。日本の自然環境，農業の立地条件，農業技術，環境保全などの観点から日本の農業の現状と特色を講述する。そして，日本と他国の農業との比較を行う。</p> <p>Lectures on some aspects of agro-ecological background, agricultural technologies and environment conservation in Japan. Comparison of agriculture in Japan and other countries.</p>					
[到達目標]					
<p>日本の農業と環境の現状と特色を理解し，出身国の農業と環境をより深く理解すること。</p> <p>Understanding some aspects of agriculture and environment conservation in Japan, and in a student's mother country.</p>					
[授業計画と内容]					
<p>以下のような課題について，授業を行う予定である。</p> <p>Following issue will be discussed in this lecture:</p> <p>1. Soils in the world and Japan (Shinjo) 農業生産を支える土壌の種類、生成過程、特徴について世界と日本のレベルで解説する。</p> <p>2. Brief Description on Agriculture in Japan (Shinjo) 日本の農業の特徴を概観する</p> <p>3. Nitrogen balance in Japan (Shinjo) 作物生育にとって必須である窒素の収支について、土壌、農地、国内、世界のレベルで解説する。</p> <p>4. Phosphorus balance in Japan (Shinjo) 作物生育にとって必須でありかつ有限資源であるリンの収支について、土壌、農地、国内、世界のレベルで解説する。</p> <p>5. Historical perspective on fruit production in Japan (Katayama) 日本における果樹生産の歴史について概説する。</p> <p>6. Characteristics of fruit trees and breeding (Katayama) 木本性の園芸作物である果樹の特徴とその育種方法について概説する。</p> <p>7. Citrus cultivation and production (Katayama) 日本におけるカンキツの栽培と生産について解説する。</p> <p>8. Grape cultivation and production (Katayama) 日本におけるブドウの栽培と生産について解説する。</p> <p>9. Globe, universe and life (Miyake) 地球という環境の中での生命活動について俯瞰的に考える。</p> <p>10. Animal breeding for Japanese beef cattle (Miyake) 日本の代表的な肉用牛である和牛についての育種改良の歴史や具体的な育種方法論について解説する。</p> <p>11, 12. New technology on animal science (Miyake) 畜産学における新たな技術（雌雄産み分け，体細胞クローン）について概説する。</p> <p>13, 14. Presentation by students</p>					
----- 日本の農業と環境(2)へ続く -----					

日本の農業と環境(2)

15 . Feedback

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

積極的な姿勢および出身国の農業と環境についての発表により総合的に評価する。

発表（60％） 平常点評価（40％）

Evaluation: active attendance (40%), and the presentation (60%) on agriculture and environment in a student's mother country.

評価基準及び達成度については、当該年度農学研究科学修要覧記載の [評価基準及び達成度] による。

Refer to current year's 'Guide to Degree Programs' for attainment levels of evaluation.

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）

授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

出身国の農業と環境について発表するための準備を行うこと。

Preparation for the presentation on agriculture and environment in a student's mother country.

（その他（オフィスアワー等））

本講義は英語で行なわれる。

This lecture is given in English.

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。